

少女の失敗ファイル/創刊号 FILE.01

失敗に至った経緯状況詳細

◇失敗少女プロファイル

氏名：有沢 瞳 Hitomi Arisawa

学年：○学2年

身長：162 cm

体重：51 kg

血液型：AB型

部活動：女子バスケットボール部

発育：とても良い

備考：文武両道の優等生で、容姿は学年の中でも特に大人びており、その凛とした顔立ちに清潔感のあるポニーテールが印象的な、校内でも一二を争う正統派美少女。

有沢瞳



◇排泄事情

便通は基本的には毎朝快便体质である。

特に便意が来ない日でも、学校の昼食後に小用で行ったトイレでついでに気張れば大便も出る、というのが彼女の基本的な日常の排便サイクルである。

排尿の頻度は割と遠めだが、4年生の時の下校時に一度だけ我慢できなくなったことがあり、野ションしたことがある。

◇失敗発生状況詳細

日 時： 10月21日 午後3:40頃発生

場 所： 急遽停車してもらった公園の公衆女子便所内

服 裝： 制服スカート

便 質： 水様便及び泥状下痢便

経 緯： 社会科見学の帰りのバス内でお腹を下した事による猛烈な便意を催した有沢 瞳。しばらく我慢していたが、顔面蒼白の汗だくになっている彼女に隣の席の大村 綾香が気付き、綾香にトイレに行きたくなったことを告げる。しかし、当日最後のトイレ休憩は40分ほど前に終わっており、この先は学校に到着するまでのおよそ50分間は停車する予定はなかった。綾香は担任教員に言ってどこかトイレに寄ってもらおうと提案するが、彼女は恥ずかしさと申し訳なさで決心できずにいた。しかし、尋常ではない様子で便意に耐えている彼女を見兼ねた綾香が本人の静止を振り切り担任へ申告。担任が運転手と相談したところ、高速を降りるまでの2、30分は停まれるところがなく、高速インター付近の公園にある公衆トイレが最短とのことだった。急遽予定を変更し、公園を目指す事になったバスの中で、彼女は猛烈な便意を必死に堪えていた。担任は、万が一彼女が途中で我慢できなくなった時の為に、生徒が気分が悪くなった時に積んでいたバケツを用意。しかし、思春期の乙女である彼女には、クラスメイトたちが乗るバス内でバケツに脱糞するという選択肢はそもそもなかった。なんとか公園に到着するまで便意を我慢した

彼女は、血相を変えてバスを飛び出しトイレに向かったが、その道中で間に合わず下痢便が決壊。個室にたどり着くまでに殆どの下痢便を漏らしてしまい、女子トイレの入り口前から駆け込んだ個室内までの地面に、下着から溢れた泥々の下痢便や水様便を撒き散らしてしまう。慌ててなんとか跨いだ和式便器の上で下着を下ろして出せた分も殆ど便器には入らず、床タイルに大量にぶち撒けてしまった。20分後、なかなかバスに戻らない彼女を心配した担任が女子トイレに様子を見に行ったときに、一つだけ閉まった個室へと続く床に撒き散らされた下痢便により、彼女の失敗を確認。担任協力の下、トイレ内を掃除して、事後処理が終わった彼女がバスへ戻ったのは、公園に到着してからおよそ50分後であった。

原因：前日の朝食後の排便を最後に、失便に至るまで排便をしていなかった。しかし、お腹を壊すことになった直接の要因は、朝食時に食べた賞味期限ギリギリで品質が劣化していたヨーグルト及び、昼食時に食べた弁当のおかずが保冷剤の入れ忘れ等により傷んでいたことが重なり、切迫性の極めて高い激しい下痢を引き起こしたものと考えられる。

処置：下着はもちろん、スカートやソックス、シューズまで汚れてしまった為、緊急用に用意してあった体育ジャージ等を貸出。

備考：失敗後の本人の様子は、クラスメイトや先生に対する罪悪感と恥ずかしさで、帰りのバス内ではずっと俯き、見るからに落ち込んでいた。